



生産管理コース



コスト削減のための 在庫管理

開催日

平成29年

12/5(火)・6(水)・7(木)

対象者 : 管理者・新任管理者
定員 : 20名
受講料 : 31,000円(税込)

本研修では、より一層のコスト削減に取り組むために、必要なモノを必要なときに必要な量だけ提供できるような在庫を適正に管理する方法を学び、自社で在庫管理の最適化が図れるように在庫実務のスキルを身につけます。

おすすめPOINT

企業内における在庫管理の必要性を理解します。

在庫管理の実践的な進め方を事例演習で体験しながら学びます。

自社の問題点を演習として使い、個別指導を受けながら在庫問題の改善に取り組みます。

カリキュラム

開催日	時間	科目	内容	講師
12/5 (火)	9:30~ 12:30	在庫管理の意義 【適正在庫を考える】	競争力強化のためのマネジメントと、そのなかで重要なカギを握る在庫管理に関わる考え方の基本を学びます。 ・在庫が企業経営に及ぼす影響 ・在庫管理がうまくいかない原因	株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント 芝田 稔子
	13:30~ 17:30	在庫管理の基本 【管理手法を考える】	在庫管理を行うための可視化の仕方や在庫状況の改善ポイントなど、管理手法を学びます。 ・在庫の可視化(在庫回転率・期間、散布図、ABC分析など) ・在庫状況改善ポイント(発注方法・ロット、リードタイムなど)	
12/6 (水)	09:00~ 18:00	在庫適正化のための アクションプラン作成 【演習】	ケース教材を通して、在庫状況を改善する方法を実践的に学びます。 【講師との個別面談】自社の在庫問題について、改善方法や今後必要と思われるデータ分析等のアドバイスをを行います。	前掲 芝田 稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント 内田 明美子
12/7 (木)	9:00~ 16:00	在庫適正化のための 管理を定着させるポイント	ケース企業について、現状分析や改善策を検討・発表するとともに、在庫適正化のための支援システム作成を行います。また、自社で在庫管理を定着、実行するために必要な事項を学びます。 ・ケース企業の在庫改善策発表【演習】 ・在庫管理を定着させるポイント ・在庫適正化のための支援システムづくり【演習】	前掲 内田 明美子

芝田講師 プロフィール

1992年大学卒業後、(株)日通総合研究所に入社し、官公庁関連の調査研究業務、物流ABC導入支援、在庫管理技法の開発等に従事。2004年4月に(株)日通総合研究所を退職し現在に至る。日本物流学会会員。著書に『ムダをなくして利益を生み出す在庫管理』、共著に『手にとるようにIT物流がわかる本』、『物流ABC導入の手順』、『新物流実務事典』、『物流管理ハンドブック』、『絵でみる 在庫管理のしくみ』、『図解でわかる物流とロジスティクス』等多数。

内田講師 プロフィール

1987年大学卒業後、日本債券信用銀行(現 あおぞら銀行)に入社し、流通、物流ほかの業界調査を担当。1998年株式会社日通総合研究所に入社し、物流ABCや在庫管理に関わる調査研究、導入コンサルティングなどに従事。2004年4月に株式会社日通総合研究所を退職し、現在に至る。経済産業省産業構造審議会地球環境部会基本政策小委員会等 流通業分科会 委員、日本物流学会会員。共著に『絵でみる「在庫管理のしくみ」』、『手にとるように物流がわかる本』、『最新在庫管理の基本と仕組みがよ〜くわかる本』等多数。

お申し込みは、裏面をFAX、または関西校HP上のオンライン申し込みで！

受講申込書

FAX 0790-22-5942

平成 年 月 日

中小企業大学校関西校 研修担当 行

ふりがな 企業・団体名		
ふりがな 代表者名(役職)		
〒 住所		
代表	TEL ()	—
	FAX ()	—
連絡担当	部課名	ふりがな 氏名
	TEL ()	—
	FAX ()	—
	E-mail:	

■貴社の概要について(必ずご記入ください)

●業種(該当する番号に○をおつけください)

D 建設業	建設業の内訳	06 総合工事
E 製造業	製造業の内訳	07 識別工事
G 情報通信業		08 設備工事
H 運輸業		(2) 資本金
I 卸売業		万円
J 小売業		(3) 従業員数
N サービス業		人
その他		(4) 創業年月
()		年 月
卸売・小売業の内訳		(5) 主要取扱品目
繊維品・化学製品	09 食品	19 ゴム製品
機械器具	10 飲料・飼料	20 革製品
建築材料等	11 繊維工業	21 窯業・土石製品
衣服・食料・医薬	12 木材・木製品	22 鉄鋼
品・家具・什器等	13 家具・建具	23 非鉄金属
	14 パルプ・紙	24 金属製品
	15 出版・印刷	25 汎用機械器具
	16 化学	29 電機機械器具
	17 石油製品・	31 輸送機械器具
	石炭製品	32 その他
	18 プラスチック製品	

■受講者について

【申込コースおよび受講希望者情報】研修テーマ: (1753)コスト削減のための在庫管理

コース No.	(ふりがな) 受講者名	部署・役職 (役職を記載の上、該当区分に○)		年齢	性別	入寮申込 (該当番号に○印)
		部署	役職			
No.53				歳	男・女	1. 宿泊しない 2. する(前泊あり) 3. する(前泊なし)
		1. 代表者 3. 管理者	2. 役員 4. 管理者候補等			
No.53				歳	男・女	1. 宿泊しない 2. する(前泊あり) 3. する(前泊なし)
		1. 代表者 3. 管理者	2. 役員 4. 管理者候補等			

今回当校の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。

1. ホームページ 2. ダイレクトメール 3. 知人からの紹介 4. 新聞・雑誌・広報誌(誌名:)
5. 公的機関等(機関名:) 6. その他()

中小企業大学校関西校の紹介動画をYou Tube にて配信中!

QRコードを読み取って、是非、ご覧ください。



- JR 播但線福崎駅(姫路駅から約30分)下車、タクシー5分
- 自動車 ①中国自動車道福崎ICより播但連絡道路へ入る。
②播但連絡道路福崎北ランプより一般道へお入り。福崎ICから関西校まで車で15分

■お申込み方法

- こちらの申込書に必要事項をご記入の上、ファックスにてお申込みください。
- 受講申込後、開校日の約1か月前から「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。
- 多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となりますが、ご対応いただけない場合などには、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■受講申込みにおける個人情報の保護について

中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。

中小企業大学校 関西校

〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929

TEL : 0790-22-5931 FAX : 0790-22-5942

URL : http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/ E-mail : kenshu-kansaiko@smrj.go.jp

大学校使用欄

--	--	--	--